

リハビリテーション病院におけるレクリエーション（第2報）

レク.アンケートを実施して

○ 金野智秀 藤田 勉
(鹿教湯病院) (鹿教湯病院)

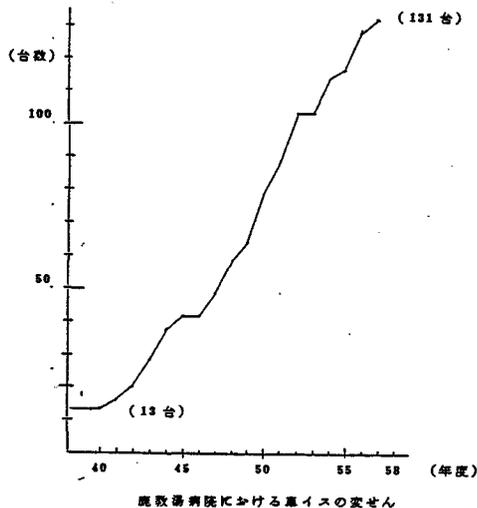
はじめに当院のレクリエーション活動の報告をします。

昭和 46 年ごろは当院のベット数は 366 床であり、レク行事は定期的には行なわれず職員のバンド、慰問団による慰安会が年間 2～3 回開催されるにすぎなかった。そのころは患者さんの自殺、行方不明があいつぎ、障害者がいかに精神的に多くの問題をかかえているかを考えさせられ、対策の一つとして

昭和 46 年に、レク活動を実施するためにレク委員会を設置した

レク委員会の構成はリハビリテーション科栄養科、その他の部、局より 1～2 名、及び事務局からなる委員会であった。

患者さんの状態は、歩行不可能者は極めて少数で車イスは 42 台であった。したがってレク委員会で立てられたプログラムも、病棟ごとに種々の会や、野外訓練を兼ねたバス旅行が組まれた。野外における歩行、A・D・L 社交性、自立性の評価も行ない 以後リハ訓練に役立せる利点もみられた。



レク行事の実施

実施年度 実施行事	46年	50年	56年	59年
野外訓練	○	○		
バス使用 徒歩	○	○		
クリスマス会 (キャンドル サービス)	○	○	○	○
作品展示会	○			
七夕	○			
映画会	○	○		
運動会		○	○	○
年末お楽しみ会			○	○
文化祭			○	○
音楽祭			○	○
ぼん踊り大会	○	○	○	○
慰安会	○	○	○	○
レクゲーム ソング大会				○

○印は実施した行事 (59年度は計画も含む)

昭和 49 年に病院の増改築が行なわれベット数は 466 床となった。

このころよりリハビリの啓もうも、ようやくいさわたり、脳卒中後遺症の早期リハ訓練の必要性が強調され、当院にも発症早期からの入院も多くなり歩行不可能者で車イス使用の患者が増加し、レクプログラムの改正が必要となった重症患者が参加しにくいバス旅行、病棟単位の行事は、レク委員会からははずすこととした。

患者さんは重症化して来ているが、見て楽しむ行事から患者さんたち皆で作りあげる行事へと内容を変更した。患者さんの実行委員と職員の実行委員で協議、協力し出来るだけ多くの患者さんを参加させる。レク委員会としては多くの人が参加出来るプログラムを組む様配慮した

その例として、患者運動会では紅白に別け全員で応援合戦を行ない、文化祭では全員に川柳を書いてもらい病棟単位でパネルにはり、コンクールを行なったり、ぼんおどり大会では病棟単位で仮装行列など患者さんが主体となり職員が応援する態勢をとった。

以上のような経過のなかで職員から疑問が出されたのでアンケートを実施した。

1 目的

昭和50年ごろまでは見て楽しむ患者行事であった。以後、患者さんを行事の企画、実施に加えて行なってきた。患者さんに主体性をもたせつつ職員が援助をする形態をとったものの患者の重度化が年々高まり準備のための指導で時間外勤務になったり、通常業務への影響が出たり等、担当職員は苦慮していた。

職員よりレク行事のあり方の指摘も多く出されたので、行事・レク委員会のあり方を調査した。

2 方法・期間

昭和59年1月 アンケート調査を実施
(質問紙法)

3 対象

鹿教湯病院職員 286名

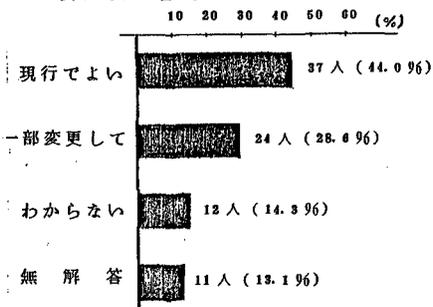
4 実施主体

鹿教湯病院レク委員会(委員12名)

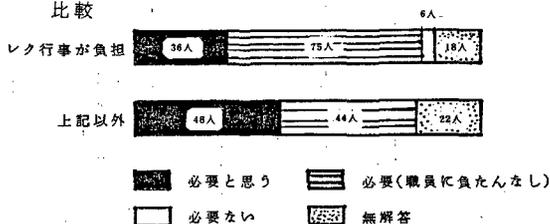
5 調査内容と結果

調査結果を集計した結果、次のことが把握された。(内容と素集計結果は次ページ)

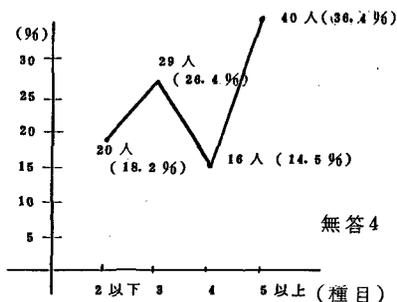
1) レク委必要と答えた人のレク委のあり方?



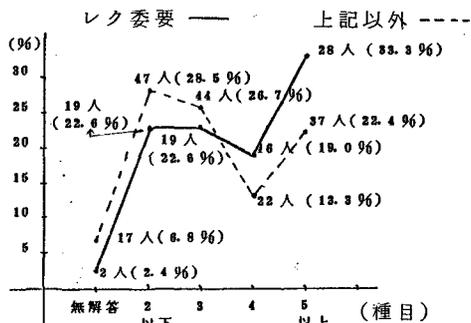
2) レク行事が負担と答えた人のレク委の必要性と上記以外の解答者でレク委の必要性との比較



3) 行事が多いと答えた人の参加種目数



4) レク委必要と答えた人の行事参加種目数と上記以外の解答者の行事参加種目数との比較



以上の結果から

- ① 患者さんのレクは、条件付も含めると8割の職員は認めている
- ② 今後のレク行事の内容、回数をどのようにするかが検討の課題となる
- ③ 患者アンケート(当院で57年実施)の結果では、多くの行事を実施してほしい(265人のうち196人)との要望があり今回の職員調査では出来るだけ職員に負担がかからないようにとのギャップをいかに解決するか
- ④ 脳卒中後遺症の片マヒ、高次神経機能障害等重症化してきて患者さんが行事についていけないとの指摘
- ⑤ 行事が多いと答えた人は参加種目数も多いが、また参加種目数の多い人ほどレクの必要性をも認めている

レクアンケート(職員用)

昭和59年 3月
レク委員会

レク委員会では、看護婦・応援職員の協力を得て、見て楽しむ行事から自分たちで作る行事へと内容を変更しつつあります。

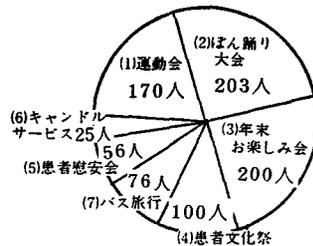
今年度は10回以上の行事を実施しましたが職員より問題を提起されています。今後のレク委員会運営の参考にしたいと思いますので皆様の御意見をお聞かせ下さい。

1 職 種

	事務	看護	リハ	医局 薬局	歯科 検査	栄着科 放射線	合 計
配布	55人	90人	69人		72		286人
回収	54人	81人	50人		64		249人
回収率	98.2%	90%	72.9%		88.9%		87.9%

2 行事参加種目(参加したものに○印を)

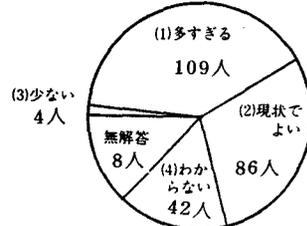
- (1)運動会 (2)ぼん踊り大会 (3)年末お楽しみ会
(4)患者文化祭 (5)患者慰安会 (6)キャンドルサービス
(7)バス旅行



3 現在行なっている行事についてお聞きます

1) 行事の数は?

- (1)多すぎる (2)現状でよい (3)少ない
(4)わからない

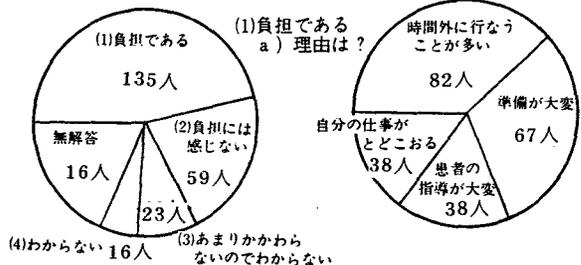


2) あなたにとって負担ですか?

(1)負担である

a) 理由は?

- ・時間外に行なうことが多い
- ・準備が大変
- ・患者の指導が大変
- ・自分の仕事とどこおる
- ・その他



(2)負担には感じない

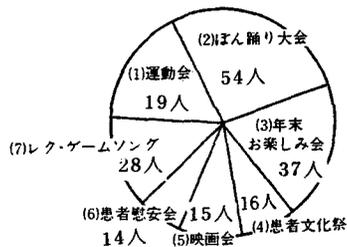
- (3)あまりかかわらないのでわからない
(4)わからない

〈あなたにとって負担ですか？〉

- 1 休みが他の職員とちがうため
- 2 実行委員以外の協力体制が悪いので委員の負担が多い
- 3 レク委員のみが苦勞している
- 4 他の行事と重なることが多い
- 5 参加する対象の患者が少なく負担が多い（職員の）
- 6 病棟の看護婦が全部やるようになる
- 7 手当がつかない

3) 下記に行なっている行事を列記してありますが不用と思われるものには○印をして下さい

- (1)運動会 (2)ぼん踊り大会 (3)年末お楽しみ会
 (4)患者文化祭 (5)映画会 (6)患者慰安会
 (7)レク・ゲームソング

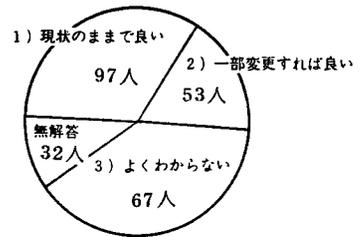


〈○印の理由〉

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 患者自身の交流の方が意味がある 2 職員の負担が大きいのので気軽にいきるもの 3 文化祭と病院祭はいっしょに出さないか 4 内容の検討（参加できる患者が少ない） 5 年末お楽しみ会ははたして患者の楽しみか 6 患者の自主性を尊重しているか疑問 7 実施する場所が狭いのでやってもやらなくても同じ 8 体の不自由さが患者のマイナスに作用することもある 9 参加したことがないのでわからない 10 運動会は見せ物的になっている 11 季節単位で考えると4回実施を基準とする 12 ぼん踊りは花市とあたらないように 13 不要ではなく日時を良く考えて実施してほしい 14 準備の時間の割に短い（実施時間） 15 踊る患者が少ない（ぼん踊り） 16 テレビを見せれば良い（映画会） 17 患者が作りあげる行事にするのはむずかしい 18 年末は色々あるので職員の参加は少ない 19 ぼん踊りは全職員で行なってほしい 20 患者の層が多様化してきている | <ol style="list-style-type: none"> 21 危険である（運動会） 22 映画会、慰安会以外ははりハ病院として必要な行事 23 行事がマンネリ 24 参加できる人数が決められてくる（各行事） 25 行事の数が多し準備が大変 26 患者の指導が大変 27 内容を楽に変えてほしい 28 集まりが悪い 29 仮装他の準備は看護婦が大変である 30 寄付を要請してまでプレゼントを配るのはおかしい 31 時間外に行なう行事が多い 32 患者は見ているのが楽しいと言って出場する人が少ない 33 レクゲームは他の行事といっしょに行なっては？ 34 金がかかる 35 夜間の行事はRISKが大きい 36 患者が楽しんではいない 37 患者の重症化リハ病院としてはお祭は不要 38 職員のボランティアのみで成立している 39 患者の評判はどうか（各催しものの） |
|---|--|

4 現在のレク委員会のあり方についてお聞きします

- 1) 現状のままで良い
- 2) 一部変更すれば良い (どこを変更すれば良いか)
(例 人数 内容 委員の選出方法 行事の決定 実施方法等)
- 3) よくわからない



〈どこを変更すれば良いか具体的に〉

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 応援職員のあり方について変更を望む 2 委員の選出方法 3 患者さんが喜ぶもののみ 4 会合等多すぎる 5 行事の内容の検討 6 レク活動はボランティアのみで行なっていないのでは? 7 年間2回程度の行事が良い 8 すべて再検討を要す 9 担当レク委の自主性にまかせて良いのでは? 10 年中行事以外のものもたまには良い 11 患者にあてるレクが多い 12 対象にする患者の人数が多い 13 委員は看護婦中心にした方が良い 14 負担が多いのでレク委の任期は1年交代で 15 委員の人数検討 16 行事を行なう時連絡が不徹底 | <ol style="list-style-type: none"> 17 地元へキフをあおいでまで行事をする必要なし 18 運営会議の決定とって強行する 19 レク委員会は必要なのか 20 レク委員が少ない 21 看護婦の負担を減らす 22 レク委員と病棟との連絡がうまくいっていない 23 レクはやりたい人がやれば良い 24 看護婦が指導するのではなくレク委員が病棟に入って指導する 25 係りの負担が多い 26 途中で行事の内容を変更するのは良くない (年末お楽しみ会) 27 応援職員のはげみになるような方法はないか 28 患者の反応がいまいち |
|---|--|

5 行事を実施・運営している上での問題点がありますか?

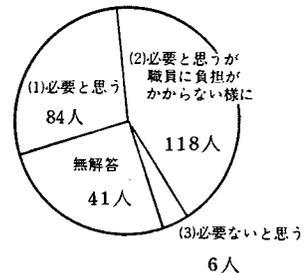
(いくつでも○印を)

- 1) 看護婦の負担が大きい
- 2) レク委員が大変
- 3) 参加できる患者さんが少なくなっている
- 4) 職員全体での協力体制が出来ていない
- 5) 行事がマンネリ化してきている



6 当院でのレク委員会の必要性はどうか?

- (1)必要と思う (どの様な点で)
- (2)必要と思うが職員に負担がかからない様に
- (3)必要ないと思う (どうしてでしょうか)



〈必要と思う〉

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 行事の中心となる委員会として必要 | 11 患者にとってレクは必要 |
| 2 主体性を発揮させるなら | 12 長期療養にハリをもたせる |
| 3 専従体制で患者サービスを行なう委員会にしては？ | 13 患者の精神的苦痛の緩和 |
| 4 楽しみにしている患者さんが多い | 14 患者サービスでは必要（機能訓練的にも） |
| 5 俳句詩吟等の同好会的にしてはどうか？ | 15 委員会がなければレクの様なものは消滅する |
| 6 「自分たちで作るあげの行事へ」と発展していく時必ずしり切れとなる危険があるがレク委員会があつてはじめてはじめがつけられる | 16 リハ病院の使命として |
| 7 余暇利用を上手にさせたい | 17 レクをわかっている人がいないと相談する先がない |
| 8 気分転換思い出としては良い患者自身ももっと身近なレクとして作り出せば | 18 入院患者に色々な刺激をあえた方が良い |
| 9 患者の交流がもてる | 19 患者さんたちは変化を求めている（入院生活に） |
| 10 入院生活の潤い楽しみになっている | 20 運営上中心になる組織があつた方が良い |
| | 21 映画慰安会など気分転換になるものだけにしてはどうか？ |
| | 22 職員患者のまとめ連絡役等必要 |
| | 23 現行の様な行事を行なうには委員会が必要 |

〈必要と思うが職員に負担がかからない様に〉

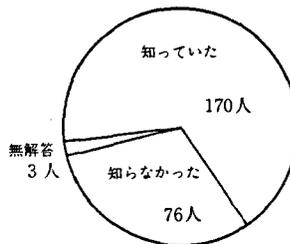
- | | |
|---|-------------------------|
| 1 あくまでボランティアの精進で | 3 行事の内容を検討し見て楽しむものへ |
| 2 患者層も変ってきており積極的に参加する患者も少なくなつてきており患者実行委員を選出するのも大変 | 4 患者さんは職員がレクをやるものと思つている |

〈必要ないと思う〉

- | | |
|--|----------------------------|
| 1 患者へおしつけのレクをしている | でも良い |
| 2 外見さえ良ければのレクは必要なし | 4 兼職でありレクに積極的にかかわるのには限界がある |
| 3 レク担当（1名）をもうけプランを作り運営会議を通して実行委員会を作って行なつ | 5 患者の層が変つてきている |

7 レク委員会で各病棟に図書をもっているのを知っていますか？

(1)知っていた (2)知らなかった



8 西五階の一室に余暇利用室を作つてありますが知っていますか？

(1)知っていた (2)知らなかった

